

| 試料・情報利用研究計画書(概要) | | | | | |
|----------------------|--|------|-----------------|---------------|--|
| 審査委員会 受付番号 | 2019-1010 | 利用形態 | 共同研究 | 利用する 試料・情報 | 対象:コホート調査参加者のうち、血中尿毒症物質が同定されている者 試料:なし 情報:基本情報、調査票情報、血液・尿検査結果情報、メタボローム情報 |
| 主たる研究機関 | 東北メディカル・メガバンク機構 | | | 分担 研究機関 | 大塚製薬株式会社 |
| 研究題目 | 慢性腎臓病での心血管疾患発症に関連したバイオマーカー探索のためのメタボローム解析 | | | 研究期間 | 2019年12月～2022年3月 |
| 実施責任者 | 熊田 和貴 | 所属 | 東北メディカル・メガバンク機構 | | 職位 講師 |
| 研究目的と意義 | 本研究は、東北メディカル・メガバンク機構で保管されている血中の尿毒素関連物質についてのメタボローム解析結果とコホート情報を利用することで、これらの尿毒症マーカーが日本での慢性腎臓病 (CKD) の診断及び心血管疾患合併症予防に有用なバイオマーカーとなるかについての解析を行います。 | | | | |
| 研究計画概要 | 測定済みの血中の尿毒症関連物質のメタボローム解析結果と既往歴などのコホート情報をに対して統計学的手法を用いて、CKD患者の早期診断、予防、合併症のモニタリングに有用なマーカーとなりえるかを調べます。 | | | | |
| 期待される成果 | 本研究により診断またはモニタリングに有用なバイオマーカーを同定することができれば、CKD患者の合併症発症モニタリング診断に役立ちます。また、新たな国民病と言われているCKDの予防や心疾患や脳血管疾患の合併症の早期診断が可能となることで、合併症による死亡率の低減が期待されます。CKDの予防や合併症発症のモニタリング診断法の確立は、日本国民の健康と福祉に貢献する上で重要な研究です。 | | | | |
| これまでの倫理 審査等の経過 | 2019年12月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(2019-4-080) | | | | |
| 倫理面、セキュリ ティー面への配慮 | すべての解析は、東北メディカル・メガバンク機構スーパーコンピュータ内で行われます。 | | | | |
| その他特記事項 | 共同研究費(大塚製薬株式会社) | | | | |
| * 公開日 | 令和元年12月26日 | | | | |